

2025 年 10 月 29 日

ジャパンモビリティショー2025 における BMW グループ・ブース

- **新世代モデル「ノイエ・クラッセ」の第一弾：BMW iX3 がアジア初公開**
- **英国ブランド 2 社のコラボレーション：MINI ポール・スミス・エディションが世界初公開**
- **BMW M2 CS が BMW M ファンを魅了**
- **BMW Concept Speedtop が BMW グループ・ブースにおいて魅力ある特別感を演出**

BMW と MINI は、ジャパンモビリティショー2025 において注目を集めるブースを展開する。10 月 31 日から 11 月 9 日まで東京で開催される本イベントでは、未来志向の BMW および MINI モデルとテクノロジーの数々が披露される。新世代「ノイエ・クラッセ」モデルである BMW iX3、水素燃料電池技術、新型 MINI Paul Smith Edition を含む MINI ファミリー、限定車 BMW M2 CS、コンセプト・モデル BMW Concept Speedtop などが含まれている。BMW モトラッドも、完全電動の BMW CE 02 と、2025 年にトップラック・ラズガトリオグルが FIM スーパーバイク世界選手権 2 連覇を達成した BMW M 1000 RR を出展する。10 月 29 日と 30 日には、東京ビッグサイト展示会場の 1,100 平方メートルのブースにおいて、メディア関係者が 3 ブランドの魅力的な展示をいち早く体験できる機会が設けられる。

新型 BMW iX3 のアジア初公開/初の新型ノイエ・クラッセ・モデル

ジャパンモビリティショーでは、初の新型ノイエ・クラッセ・モデルである BMW iX3 のアジア初公開が行われる。BMW iX3 と共に展示されるのは、BMW グループ全体の未来を指し示す革新的な技術の数々である。ジャパンモビリティショー来場者は、新型 BMW iX3 が電気モビリティ、表示・操作コンセプト、デジタル化、コネクティビティ、デザイン、サステナビリティなど多岐にわたる分野で実現した技術的飛躍を目の当たりにすることが可能である。今後登場するすべての BMW モデルは、採用する駆動システムの種類に関わらず、ノイエ・クラッセがもたらす革新の恩恵を受けることになる。

日本向け BMW iX3 の生産は 2026 年 3 月に開始予定であり、日本国内の BMW 正規ディーラーを通じ、現時点では 2026 年後半に開始される予定である。BMW iX3 は、BMW ブランドにとって全く新しいデザイン言語を打ち出し、達成された技術的進歩を忠実に伝えている。革新的なディスプレイと操作コンセプト

「BMW パノラミック iDrive」は、新開発の「BMW パノラミック・ビジョン」と「BMW オペレーティング・システム X」を統合し、ユーザー体験を再定義している。BMW ならではの完璧なドライバー・オリエンティッドを実現する。4 基の高性能コンピューター「スーパーブレイン」で構成されるゾーン別アーキテクチャーが、ソフトウェア定義車両の基盤を提供する。この高性能コンピューターの 1 つが「歓びの心臓部」です。完全自社開発の BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロール・ソフトウェアにより、静止状態からダイナミックな限界領域まで、車両全体の走行特性を管理します。第 6 世代 (Gen6) BMW eDrive、円筒形セル・バッテリー、新開発電動モーターを搭載した初の新型ノイエ・クラッセ・モデルとして、新型 BMW iX3 は大きな技術的進歩を遂げている。400kW の充電により、10 分で 372km (231 マイル) の航続距離を追加することが可能であり、双方向充電機能により、車両自体が移動式電源バンクへと変

貌する。

2028 年登場の新型 BMW iX5 Hydrogen

様々なパワートレインを提供することは、BMW グループの成功における重要な要素であり続けている。内燃機関、プラグイン・ハイブリッド、電気自動車、そして 2028 年発売の新型 BMW iX5 Hydrogen から始まる水素燃料電池技術までを網羅する幅広い駆動システム・ポートフォリオは、現在および将来にわたって世界中の顧客の多様な要求とニーズに確実に応える基盤を築いている。

この水素駆動技術は、BMW グループがトヨタ自動車株式会社と共同開発する第 3 世代燃料電池システムを基盤としている。この技術的進歩により、よりコンパクトな設計でありながら、より強力かつ効率的なシステムが実現している。航続距離と出力を向上させると同時に、エネルギー消費量を削減している。ミュンヘンと BMW グループのシュタイアー工場の専門センターでは、この技術の初期プロトタイプを製作中であり、また BMW グループのランツフート工場では、駆動システム向けの追加コンポーネントを供給している。

世界初公開: MINI ポール・スミス・エディション

1998 年、ポール・スミスは、クラシックなミニの限定モデルに彼のシグネチャーを提供して以来、MINI とこの英国人デザイナーは、数多くのプロジェクトを共同で実現している。そして今、ジャパンモビリティショー 2025 を舞台に、この伝統あるコラボレーションの新たなマイルストーンとなる、新しい MINI ポール・スミス・エディションが世界初公開となる。この特別仕様車では、ポール・スミスが世界的に有名な「クラシックにひねりを加えた」デザイン言語を MINI クーパー・ファミリーにもたらしている。この車のスタイリングとディテールは、ポール・スミスの紛れもないスタイルと、MINI ブランドの遊び心にあふれた、陽気で独立心のある精神を融合したものである。

ノッティンガム・グリーンなどの限定エクステリア・カラー、ポール・スミスの「シグネチャー・ストライプ」などの洗練されたデザイン要素が、MINI ポール・スミス・エディションの独特の外観を際立たせている。MINI ポール・スミス・エディションの標準仕様には、ダーク・スチールをアクセントにした 18 インチのナイトフラッシュ・スポーク・ブラック・アロイホイールが含まれます。また、ホイール・トリムとブラックの水平型トランクリッド・ハンドルにポール・スミスのサインが刻印されており、この特別仕様車を際立たせている。MINI ポール・スミス・エディションは、MINI クーパー 3 ドア、5 ドア、コンバーチブルの各モデルで提供されている。MINI ポール・スミス・エディションの電気自動車モデルは、ジャパンモビリティショーでの世界初公開とともに販売が開始され、内燃エンジン搭載モデルは 2026 年第 1 四半期に受注が開始される予定である。

日本初公開: 限定車 BMW M2 CS

限定車 BMW M2 CS が、ジャパンモビリティショー2025 の BMW グループ・ブースにて日本初公開される。M ツインターボ技術を搭載した高回転型直列 6 気筒エンジン（標準 BMW M2 搭載ユニットの改良版）は、6,250rpm で驚異の 390kW/530hp を発揮し、BMW M 社プレミアム・スモール・コンパクト・セグメントの高性能スポーツ・カーは、純粋なドライビング・プレジャーの基準をさらに高みへと引き上げている。

標準装備の 8 速 M ステップトロニック・トランスミッション（ドライブプロジック付）が、BMW M2 CS の

後輪にエンジンのパワーを伝達する。炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の使用を含む軽量設計技術の適切な採用により、特別仕様車の重量は標準の BMW M2 と比較して約 30 キログラムの軽量化が図られている。軽量化と瞬時のパワー伝達により、BMW M2 CS は 0-100km/h 加速を 3.8 秒で達成し、4 秒の壁を突破している。「1-foot rollout」方式で算出された数値は 3.5 秒である。80km/h から 120km/h（50～75mph）への中間加速は 3.4 秒、最高速度は電子制御により 302km/h（188mph）に制限されている。BMW M2 CS のシャシー技術とブレーキ・システムは、エンジン性能の向上と特別仕様車特有の重量バランス（車高を 8mm 低下）に精密に最適化されている。

BMW M2 CS の印象的な外観は、CFRP 製コンポーネントの数々と、BMW M2 でお馴染みの M エクステリア・ミラー・キャップ、特別仕様車標準装備の M カーボン・ルーフ、CS 専用リア・ディフューザーといった専用ディテールが特徴である。新型 BMW M2 CS のインテリアは、高級感あふれるアルカンターラによるスポーティな質感と革新的な軽量設計を融合している。CFRP 製センター・コンソールや、重量を最適化した M カーボン製フロント・バケット・シート（メリノレザー仕上げヒーター付き）も装備されている。

AirConsole による車内ゲームで世界的に有名なクラシック・タイトルを楽しめます。

BMW グループ・ブースでは、BMW Operating System 8.5 で初導入となった AirConsole による車内ゲームも体験可能である。新型 BMW iX3 では、マテル社のクラシック・カード・ゲーム「UNO®」など世界的に有名なタイトルが搭載されている。車内ゲーム用に最適化され「UNO® Car Party!」と改名された本作をはじめ、マテル社（NASDAQ: MAT）が所有する世界的に象徴的なブランド・ポート・フォリオの一角を担うコンテンツが楽しめる。マテル社は世界有数の玩具・ファミリー・エンターテインメント企業である。BMW ユーザーはさらに、AirConsole がマテル社と共同でゲーム・ライブラリに追加した「Hot Wheels: Xtreme Overdrive™」への独占アクセス権を獲得している。このゲームでは、パノラミック・ドライブ・トラックでのレースで仮想 BMW Vision Neue Klasse X を駆りポイントを獲得し、伝説的なホット・ウィール・カーをアンロック・カスタマイズ可能である。レースのたびに BMW Vision Neue Klasse X の性能とスタイルが披露される仕組みである。

同時に AirConsole は、バンダイナムコエンターテインメント提供の『PAC-MAN™ チャンピオンシップ・エディション』を BMW 向けに初リリースする。アーケードの名作を BMW 専用にカスタマイズした本バージョンでは、世界的に有名なゲームに独自のひねりを加えた BMW 限定アイテムが登場する。AirConsole ではスマートフォンをコントローラーとして使用できるため、乗車中の全乗客が対戦可能となる。

BMW コンセプト・スピードトップ: スポーツ・ツーリングの再定義

BMW グループがジャパンモビリティショー2025 に展示するモデルの中で、特に目を惹く特別な存在感を放つのが、唯一無二の BMW コンセプト・スピードトップである。この 3 ドア・コンセプト・カーは、今年 5 月にイタリアのコモ湖畔で開催された歴史的な車を称える名高いイベント「コンコルソ・デレガンツァ・ヴィラ・デステ 2025」で初公開されている。BMW コンセプト・スピードトップは、シューティング・ブレークの優雅さと斬新なデザイン言語を融合させ、スポーティなツーリング・モデルを再解釈している。70 台限定の限定生産モデルとなる本コンセプト・カーの希少性は、BMW が現在提供する最もパワフルな V8 エンジンを搭載した卓越したパワートレインによってさらに強調されている。

BMW コンセプト・スピードトップの外観は、シャークノーズと呼ばれるフロント・エンドの顕著な V 字形状、スリムなフロント・ライト、そしてイルミネーションを施したキドニーグリルによって特徴づけられている。ボンネットからルーフを経てリア・スポイラーへと続く中央のスプライン・ラインは、ダイナミック

なツーリング・プロファイルを車体に加え、その幅広のリア・フェンダーがさらにスポーティなデザインを際立たせている。その優雅さは、BMW コンセプト・スピードトップ専用に設計されたツートーンの 14 スポーク・ファンスタイル・ホイールによって強調され、ツートーン・カラーと素材コンセプトがエクステリアとインテリアの連続性を創出している。フローティング・サンストーン・マルーンのエクステリア塗装が放つきらめく茶色調は、サンダウン・マルーンの茶色を基調とした世界観と、シートの明るいムーン・ストーン・ホワイトによってキャビンへと引き継がれている。さらに、熟練の技で仕上げられた伝統的なブローグ・スタイルのディテールが、レザー張りの表面を際立たせ、工房レベルの職人技を可視化している。BMW コンセプト・スピードトップのトランクもレザー張りであり、ブローグ・スタイルのパフォーマンスで装飾されている。エクステリアとインテリアの精巧な職人技は、BMW グループのディンゴルフィンク工場の工房の専門技術によって実現されている。

BMW X7 と日本の職人技術の出会い

ジャパンモビリティショーで展示される「BMW X7 錦ラウンジ」は、豪華な乗り心地と日本の伝統工芸が優雅に融合した姿を体現している。この魅力的なコンセプト・モデルは、BMW X7 をベースに高い実用性も兼ね備えている。星がきらめく美しさに満ちた静謐な空間、BMW X7 錦ラウンジは優しく広々とした聖域を創り出している。キャビン内では、BMW 独自の洗練された輝きが、京都の伝統技法で創り出された広大な星空と芸術的に融合している。

専用ツートーン・カラーが BMW X7 錦ラウンジの特別なオーラを一瞬で伝えている。メイン・カラーの BMW Individual ベルベット・ブルーを補完するように、ルーフ部分は宇宙に輝く星雲のきらめきを想起させるスペース・シルバーで塗装されている。クリスタル・ヘッドライトは、アイコニック・グローの優しい光によって引き立てられ、無限の宝石のような輝きを放っている。室内には 15,000 個の LED を搭載したパノラミック・スカイルーフが夜には淡い青の星明りを投影し、Bowers & Wilkins ダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システムは、地上に降り注ぐ光を音で表現している。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>